

伏見たかしの議員報告

駅前配布版(通算 62 号) 平成 17 年 5 月



発行者 伏見 隆 (枚方市議会議員) 携帯☎ 090-5461-5987
連絡先 議会事務局 〒573-8666 枚方市大垣内町 2 1 20 ☎841-1221(代)
メール: webmaster@tfushimi.net ホームページ: <http://www.tfushimi.net>

今回は前号に続き 3 月議会のご報告です。
市長が議会初日に行った平成 17 年度の
市政運営方針の説明(*1)に対して各会派の
代表質問が行われました。私が行った会派
「ひらかた市民会議」の代表質問の中から 4 件
についてご報告致します。

(*1) 新年度に取り組む事業や政策についての
説明。通常、毎年 3 月の定例議会で行われる。
17 年度の市政運営方針の内容については広報
ひらかた 4 月号または枚方市のホームページを
ご覧ください。

1. 「あれもやる、これもやる」になっていないか？

【質問】 本市では、行政評価として事務事業評価(*2)に取り組んでおり、これを参考に
各担当部局が予算編成を行う包括予算制度を導入している。事業の精査が進むものと期
待していたが、廃止される事業数はわずかしか
ない。構造改革の目標には、「選択と集中による
効果的・効率的な資源の投入」とあるが、これまでの
行政評価の取り組みでは効果は期待できない。
市長はどのように選択と集中を実行するのか。

(*2) 行政サービス(事務・事業・業務)の
一つ一つを統一的な視点と手段を用いて
自己評価を行い、その評価結果を今後の
行政サービスの展開に反映させようとする
もの。枚方市では平成 12 年度から導入して
いる。(枚方市議会報第 236 号より)

【市長答弁】 事務事業評価の結果、必要性の
乏しい、あるいは低下した事業については、廃止という方向性を打ち出している。今回、
構造改革に関する指針を策定したことを契機に、第 2 次行政改革推進実施計画と行政
評価を両輪に、選択と集中の観点から事務事業に取り組む姿勢を見直していく。

2. 職員厚遇問題、枚方市は大丈夫？

【質問】 市政運営方針では、市職員の福利厚生と特殊勤務手当について厳しく検証を加
えると(市長は)述べているが、他の手当や給料表の運用など、聖域を設けなくて、市民の
理解を得られないものはすべて見直すべきと考えるが市長の見解を聞く。

また、そのような待遇を見直した上で職責や業績が適切に反映される給与制度を構築さ
れるよう強く要望する。

【市長答弁】 常に市民の目線に立つという観点から、退職手当や住居手当の見直しなど、
これまでさまざまな取り組みを行ってきた。また、特殊勤務手当の見直しについては、今
月から労使交渉を予定している。給与制度については、今後も引き続き国の動向を注視し
ながら能力・業績重視の制度構築を図っていく。

3. 労働組合との交渉、オープンにしては？

【質問】 大阪市の職員厚遇問題については、職員の労働条件が密室での交渉で決められていたことが、市民の常識からかけ離れた厚遇に至った理由の一つであると考えます。

大阪市では、問題に対する批判を受け、労働組合との交渉内容をインターネットなどで公開しているが、本市でも、労使交渉を行う際には傍聴を可能にしたり、インターネットに議事録を公開するなど、情報公開を行うべきだと考えるが、市長の見解を聞く。

【市長答弁】 これまでにも、職員団体からの要求書や回答内容の公開は、情報公開制度に基づいて行っている。労使交渉の公開は、法律上の課題整理について研究していく。

また、交渉に当たっては、市民の視点や市民感覚を踏まえた姿勢で臨むように指示している。

4. 進め！市駅周辺の放置自転車対策

【質問】 枚方市駅周辺は、自転車放置禁止区域にも指定されていながら、ひどい状態だ。機械式駐輪システムを設置することのだが、どのような場所に設置していくのか。また、マナーの悪い市民に対してどのような対応をとられるのか、今後の対策について尋ねる。

【市長答弁】 今回、新たな対策として、道路上で歩行者の通行等に支障のない部分を利用し、買い物客を対象とした機械式の駐輪システムを設置するものだ。今後も引き続き枚方市駅周辺整備基本構想の中にある安心して歩くことができる「みち」の趣旨を踏まえて、駐輪場への誘導とあわせて一層の指導、計画の強化を図っていく。

ふしみめも

枚方市は「小さくても仕事のできる市役所」をめざして改革に取り組んでいます。一方、市政運営方針には、「これって本当に税金を使ってやる必要あるの？」と感じられる事業がいくつもあるように思います。市長が必要と判断して始めた事業を部下が「不要」という評価を下せるのかなあ。やはり、事業の選択と集中は市長の「思い」にかかっているのではないのでしょうか。

大阪市の職員厚遇問題について、厚遇か厚遇でないかは、市民の常識と照らし合わせて判断されるべきものと思います。市職員の給与は市民の税金で支払われている訳ですから、労働組合が市民の常識を無視して自己の権利獲得に走るようなことがあっては困ります。市民がブレーキを踏めるように労使交渉はオープンにすべきではないのでしょうか。

ふし み たかし
伏見 隆

(枚方市議会議員)

37歳

香里団地D地区在住

<所属政党> なし <経歴> うみのほし幼稚園 高陵小 枚方一中 寝屋川高
京産大 極東貿易(株) H15/5より現職 <趣味> 野球、柔道、旅行